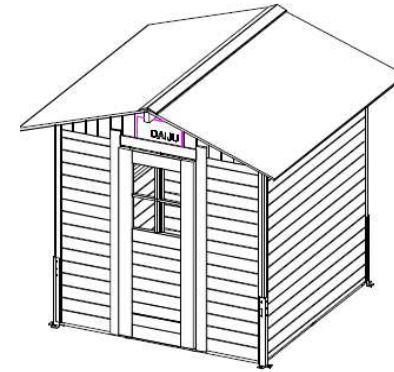


北欧材ウツディハウス WH-180B



ご注意・組立説明書

1. 各パネル(部品)は次のように梱包されています。
 最初に全てのパネル・部品がそろっているか下の表を元にご確認ください。
 ※ この番号は各セットによって異なりますが原則としてそれぞれのセットで各梱包に同じ番号が表示されています。



梱包番号	部品	Q'TY	備考
NO.180B-001-①	屋根	1	左右どちらにも取り付け可
	妻壁	1	
NO.180B-001-②	屋根	1	左右どちらにも取り付け可
	妻壁	1	
NO.180B-001-③	床 前	1	
NO.180B-001-④	床 後	1	
NO.180B-001-⑤	右壁上	1	
	左壁上(窓付)	1	窓を右側に付ける場合は左壁下も右側の下へ移動してください。
NO.180B-001-⑥	右壁下	1	
	左壁下	1	
	窓ACRYL板	2	
NO.180B-001-⑦	後壁上	1	
	後壁下	1	
NO.180B-001-⑧	扉	1	
	ドア横壁	2	
NO.180B-001-⑨	柱	4	それぞれの位置を確認してご使用ください。
	棟木	1	
	アンカー 錨	4	
	飾板	4	屋根の前後の端に固定します。
	木ネジ一式	1 組	
	屋根トタン	1	屋根の天辺中央に載せます。



注意

※ 組立前に必ずこれらの注意事項をお読みください。

完成図

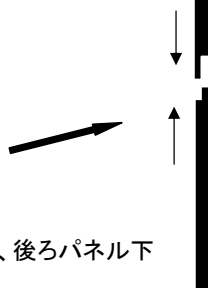
1. パネルの片側の突起部分の破損にご注意ください。

A. 床パネルはこのように差し込みます。床パネルはどちらを前にしてもかまいません。



B. 横パネル下・後ろパネル下の突起のあるほうが上になります。

横パネル上、窓パネル、後ろパネル上



※この突起が破損しないよう十分に注意してパネルをあわせてください。

横パネル下(1 & 2)、後ろパネル下

※パネルを床に立てておく場合など、突起の部分を必ず上にして、

傷まないように置いてください。

また、パネルを持つ際に、この突起部分を持たないようにご注意ください。

2. 屋根材(アスファルトシングル)がまれに縁でめくれて屋根板から離れている場合があります。 このような場合は、木材用の接着剤で貼り付けて補修してください。

3. 窓パネルは左右どちら側にも付けられます。

基本仕様どおり窓を左側につける際はこの組立説明書に従って取り付けてください。

窓を右側につける場合、窓パネル(左上パネル)だけでなく左パネル下も右側にもって行き、窓パネルの下に当ててください。

その場合、基本仕様では右側で使用するパネルを上下とも左側で使用してください。

4. この商品は天然の木材を使用している関係上、多少のひび割れや木の節の穴などがあります。特に床の枠は強い地震等にも耐える対策としてこのクラスとしてはかなり太い材料を使用していますがその関係上多少のひび割れがある場合があります。

有る程度のものは材料の特性上やむをえないものであり、それらも考慮して設計していますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

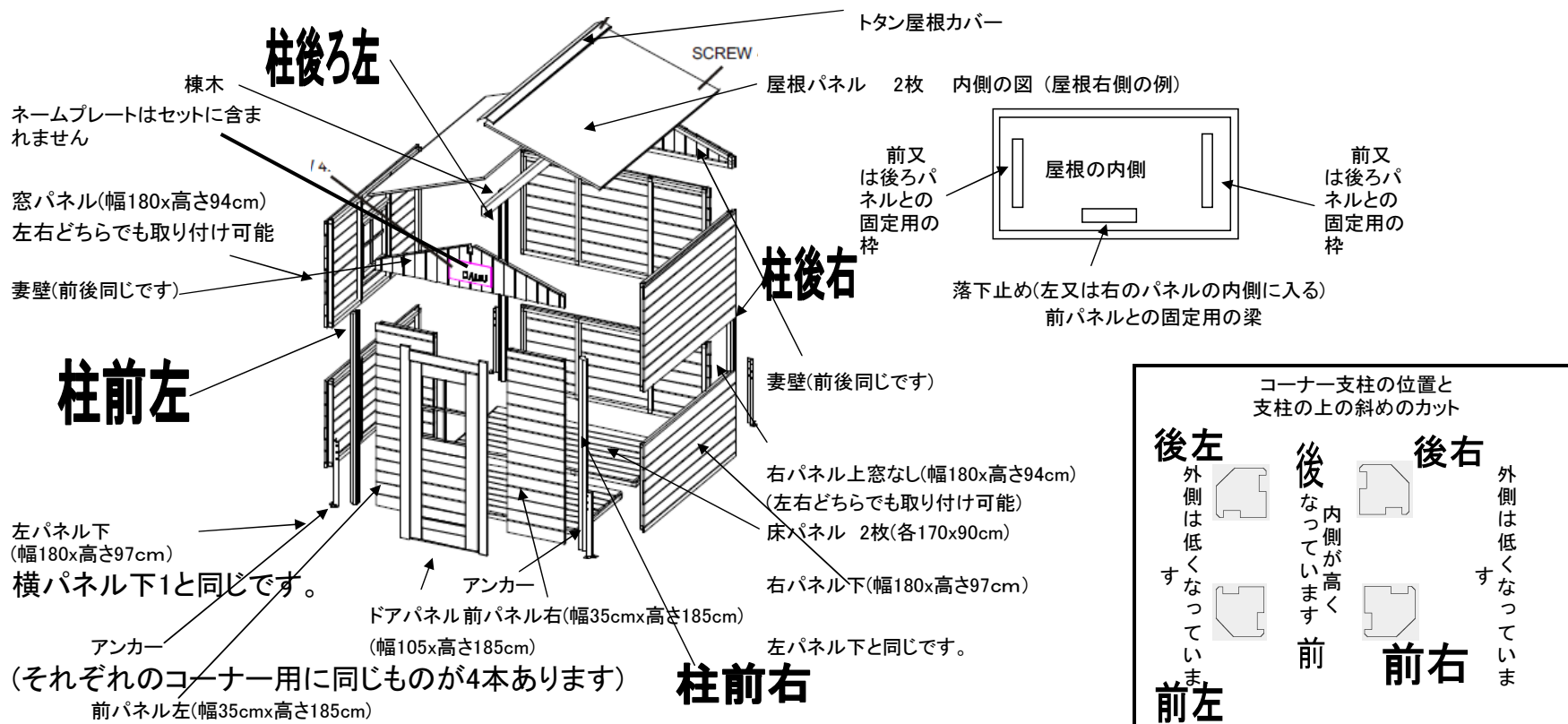
また、ドアノブの穴の周囲など、加工のあとの仕上げがきれいではない場合があります。これは組立後は隠れて見えなくなる場所ですので、ご了解ください。

この商品は通常の使用における耐久性を十分に考慮して製造されていますが、通常以外の使用条件や気候条件あるいは災害などに対して保証しているものではありません。
台風や地震に備えてモクネジの本数をさらに増やしたり、よりしっかりとしたアンカーを敷設されることをお勧めします。

5. 組立に必要な道具

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| 軍手 | パネルにはささくれなどがあります。 |
| 電動ドリル | 強度を保つため、もくねじの本数を多くしています。 |
| 木槌 | パネル同士をきちんとあわせるために使用します。 |
| 脚立(はしご) | 屋根板を乗せる際、屋根を固定する際、屋根カバーを乗せる際に使用します。 |
| メジャー | パネルの寸法を確認します。 |
| 水準器 | 床板の水平を計ります。 |

- 2 パネルとパネルを合わせて木ねじを打つ時はそれぞれのパネルの端から端までを隙間無く合わせた状態で行ってください。
木ねじを打ち込む人の他に必ず、2枚の接合するパネルを押さえる人が必要です。
ほとんどの場合、一人は外側でパネルやコーナー支柱をきちんと合わせて押さえ、もう一人は内側で木ねじを打つ形になります。
- 3 屋根に張ってある屋根材は傷むと防水効果の落ちる場合がありますので、地面や床に置くときは下に段ボール紙などをしき、静かに置いてください。
- 4 パネルはどれも組立後は十分な強度を保つに十分なものですが、組立前は、角など傷めないよう十分に注意してお取り扱いください。
- 5 屋根カバーは鉄板でできており、曲がったりしやすいので、丁寧に取り扱いってください。上に物を置かないようにしてください。
- 6 組立前に、必要な部品がそろっているか確かめてください。
- 7 この商品の組立には二人で、約2時間必要になります(基礎部分とペイントを除く)。明るく、天気の良いときに時間の余裕を持って組み立ててください。



組立の手順 (モクネジは矢印で示してあります)

1 設置場所の選定

設置場所は地盤が固く安定し、できるだけ平らなところ、また強い風の当たりにくいところをお選びください。 水はけの悪いところは避けてください。

2 設置場所の整地

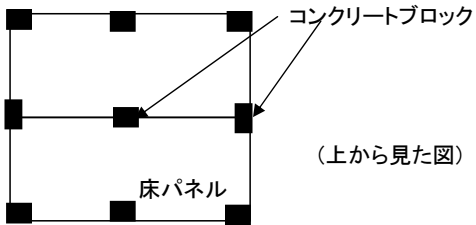
設置場所はできるだけ整地して平らで安定するようにしてください。

3 基礎

床下にコンクリートブロック、あるいはピンコロ石をしきます。

図のように少なくとも9箇所に宛ててください。

**※ 平らでないところや地盤の悪いところでは
専門業者に基礎工事を依頼することをお勧めします。**



4. 本体の組立

① 床板

平らできれいな場所で、床パネル前・後ろを接合します。

床パネル前・後ろを裏返し、パネルの突起部分が傷まないようにあわせませす。

きちんと合わせた状態で、図のようにもくねじ6本で固定します。

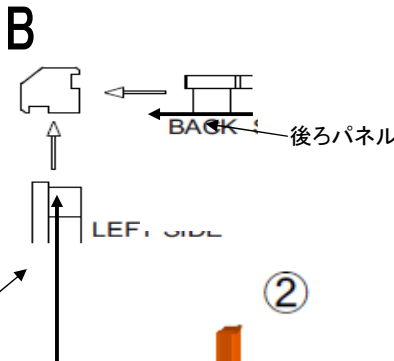
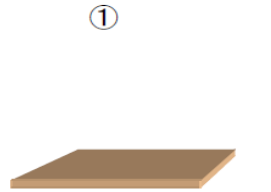
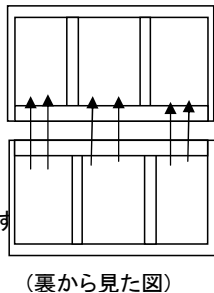
接合部に力がかからないように接合した床パネルをコンクリートブロック(基礎)の上におきます。

基礎の上に正しく乗せ、床板とコンクリートブロックの間に大きな隙間が無いか確かめます

隙間がある場合は、ベニヤの切れ端などをコンクリートブロックの上に乗せ、隙間が無いようにしてください。

水準器を床の上の何箇所かに置いて、水平かどうか確かめてください。

水平でない場合、必要な場所のブロックの上にベニヤの切れ端などを置いて、水平になるようにしてください。



② コーナー支柱(後ろ左)と後ろパネル下の組立(右図参照)

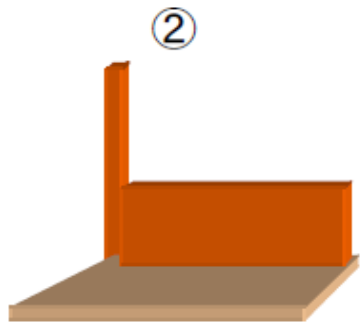
※後ろパネル下の細い突起の出ている部分が上側になります。傷めないように注意して持ってください。

床板のBの位置の枠の上にコーナー支柱を立てます。

後ろパネル下を床板の後ろの枠の上の立てます。

後ろパネルと支柱をしっかりと組んで一人が支え、もう一人はパネル側から支柱に木ねじを打って固定します。

上下および中央の3箇所に木ねじを打ってください。



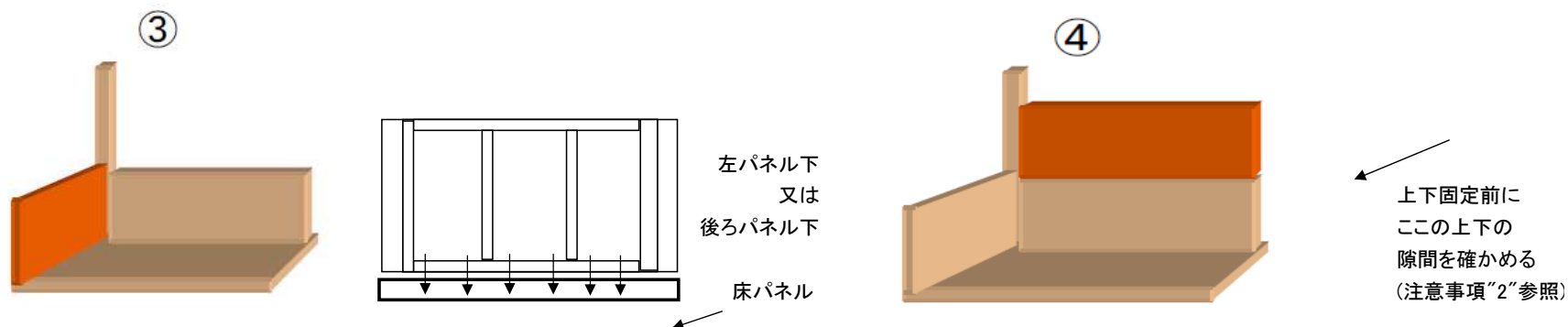
③-1 コーナー支柱(後左)と左パネル下の組立(次ページ図参照)

※左パネル下の細い突起の出ている部分が上側になります。傷めないように注意して持ってください。

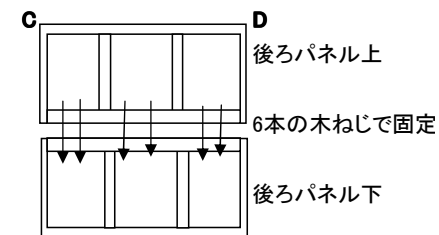
左パネル下をコーナー支柱(後左)に組み、同じようにモクネジで固定します。

上下および中央の3箇所に木ねじを打ってください。

- ③-2 後ろパネル下と、左パネル下の床枠への固定(右図参照)
 後ろパネル下と左パネル下をきちんと床パネルの上に乗せ、内側にぴったりあわせませす。
 それぞれのパネルから、床板の枠に向かって、6本ずつ木ねじを打ち込み、床板に固定してください。



- ④ 後ろパネル上の固定
※後ろパネル上を下のパネルの乗せる際、下のパネルの上側の突起を傷めないよう注意してください。
 後ろパネル上をパネル下に乗せます。パネル下の上側の突起とパネル上の下側の凹みがきれいに合うように注意してください。
 後ろパネル上をコーナー支柱(後ろ左)にしっかりとはめ込んでください。
 後ろパネル上の下側の枠の上から後ろパネル下へ向かって図のように6本の木ねじで固定してください。
 パネル上をコーナー支柱(後ろ左)に3本の木ねじで固定してください。



<横から見た図>

⑤ 窓パネル ※ 窓パネルは右側につけることもできます。(注意事項「4」をご参照ください)

※乗せる際は左パネル下の上部の突起をいためないよう、十分に注意し、左パネル下の上部の突起が、窓パネル下側のへこみにはいるように乗せてください。

窓パネル上を左パネル下に乗せます。パネル下の上側の突起とパネル上の下側の凹みがきれいに合うように注意してください。

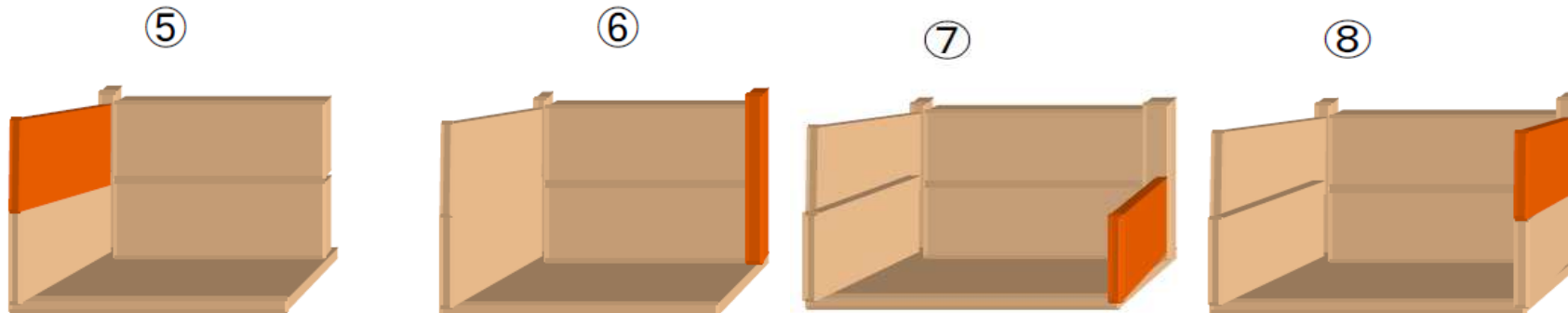
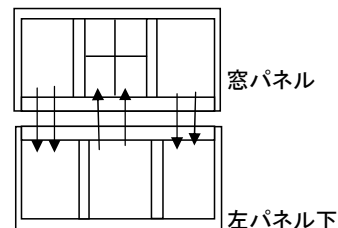
その状態で窓パネルを支柱(後ろ左)の溝にきちんとはめて下さい。

このとき、窓パネルの下側の枠と左パネル下の上側の枠の隙間がどの程度あるか確かめてください。

「注意事項2」に従って必要に応じてベニヤ板を隙間に入れてください。

窓パネル上の下側の枠の上から後ろパネル下へ向かって図のように6本の木ねじで固定してください。(中央の2本は下から上へ)

窓パネルの後ろ側の枠からコーナー支柱(後ろ左)に3本木ねじをうちこみ、窓パネルとコーナー支柱を固定してください。



⑥ コーナー支柱(後ろ右)の組込

右後ろ角の位置にコーナー支柱を立てて後ろパネルに組み入れてください。

しっかりと組み入れた状態で、後ろパネル側からコーナー支柱にモクネジ6本を打ち込み固定してください。

⑦ 右パネル下の固定

※乗せる際は右パネル下の上部の突起をいためないよう、十分に注意して設置してください。

右パネル下を床パネルの右側の枠の上に乗せ、コーナー支柱Cに組み込みます。

右パネル下の側からコーナー支柱(後ろ右)に3本の木ねじを打って固定します。

右パネル下を床パネルの枠の上で内側に押さえた状態で、床板の枠に固定します。合計6本の木ねじを打ってください。

⑧ 右パネル上の固定

※乗せる際は右パネル下の上部の突起をいためないよう、十分に注意し、右パネル下の上部の突起が、

右パネル下側のへこみにはいるように乗せてください。

※ 右パネル上下を左側に配置し、右側に窓パネルを配置することも可能です。(注4参照)

右側に固定した右パネル下の上に右パネル上を乗せます。

右パネル上をコーナー支柱(後ろ右)にしっかりとはめ込んでください。

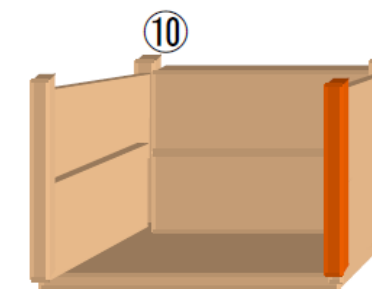
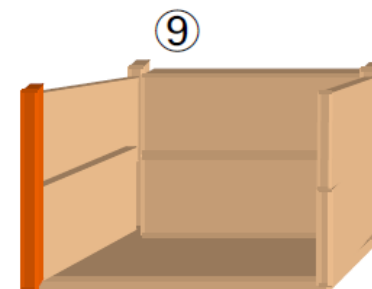
このとき、右パネル上の下側の枠と右パネル下の上側の枠の隙間がどの程度あるか確かめてください。

「注意事項2」に従って必要に応じてベニヤ板を隙間に入れてください。

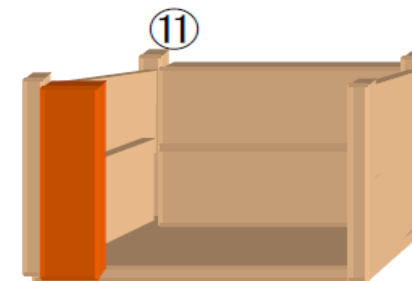
右パネル上の下側の枠の上から右パネル下へ向かって6本の木ねじで固定してください。

パネル上をコーナー支柱(後ろ右)に3本のモクネジで固定してください。

右パネルの下側の枠の上からモクネジ6本を打ち込み、横パネル下に固定してください。

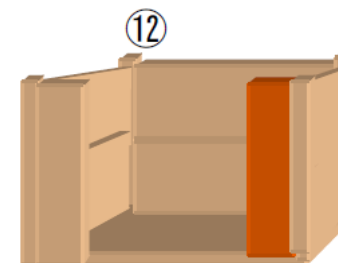


- ⑨ **コーナー支柱(前左)の固定**
 左の前側にコーナー支柱Aを立て、左パネルにきちんとはめ込んでください。
 左パネルの側からコーナー支柱(前左)に対し、合計6本の木ねじを打って左パネルとコーナー支柱Aを固定してください。
- ⑩ **コーナー支柱(前右)の固定**
 右の前側にコーナー支柱Dを立て、右パネルにきちんとはめ込んでください。
 右パネルの側からコーナー支柱(前右)に対し、合計6本の木ねじを打って右パネルとコーナー支柱(前右)を固定してください。

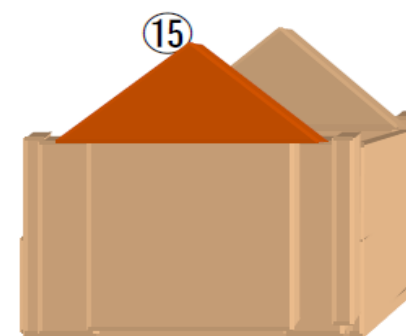
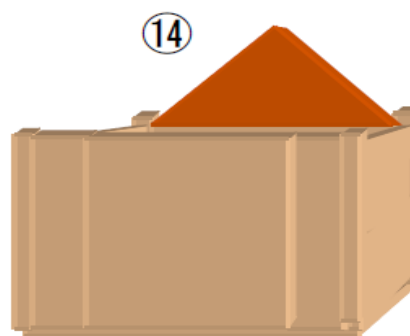
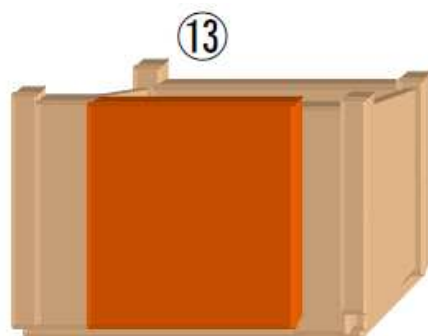


- ⑪ **前面左パネルの固定**
 前面パネル左を床パネル枠の前面左側に乗せ、コーナー支柱(前左)にきちんとはめ込んでください。
 前面パネル左の側からコーナー支柱(前左)に対し木ねじを合計6本打ち、固定してください。
 前面左パネルを床パネルの側にきちんと押し当て、下側の枠から床パネルの枠に2本の木ねじを打ち固定してください。

- ⑫ **前面右パネルの固定**
 前面パネル右を床パネル枠の前面右側に乗せ、コーナー支柱(前右)にきちんとはめ込んでください。
 前面パネル右の側からコーナー支柱(前右)に対し木ねじを合計6本打ち、固定してください。
 前面右パネルを床パネルの側にきちんと押し当て、下側の枠から床パネルの枠に2本の木ねじを打ち固定してください。



- ⑬ **ドアパネルの固定**
ドアパネル下にはドアパネルがドアの動きで運搬中に傷まないよう、板が当ててあります。
木ねじを抜いて、まずこの板をはずしてください。
 ドアパネルを前パネル右と左の間にはめ、ドアの左右の板の外側から、左右の前パネルにそれぞれ3本、ドアの上の板から2本、計8本のモクネジ(φ5 x 55mm)で固定してください。
 ※ ドアパネルを移動したり、固定したりする場合は鍵をロックした状態で行ってください。
 ※ ドアパネル下には補強と耐久性を考慮して鉄棒が入っています。
 ドアパネルの下側の鉄棒に木ねじを打ち込み、床パネルの枠と固定してください。



- ⑭ **破風後ろの固定**
破風をコーナー支柱(後左)と(後右)に上から差込み後ろパネルの上においでください。
※ 破風の両端の細い部分が傷まないよう丁寧にコーナー支柱の溝に入れてください。
後ろパネル上の上側の枠の下側から破風に対し上向きに合計6本の木ねじを打ち、後ろ破風を固定してください。

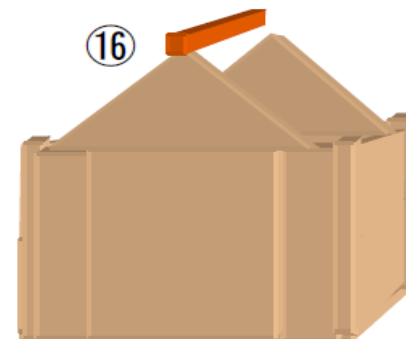
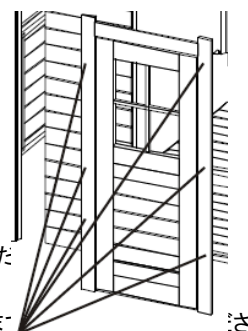
- ⑮ **破風前の固定** (前頁図参照)
破風をコーナー支柱(前左)と(前右)に上から差込み前パネルの上においでください。
※ 破風の両端の細い部分が傷まないよう丁寧にコーナー支柱の溝に入れてください。
左右前パネルとドアの上側の枠の下側から破風に対し上向きに合計6本の木ねじを打ち、前破風を固定してください。
※ 前後の破風の左右それぞれに木ねじをうち(シルバーの木ネジ)柱に固定してください。(右の写真参照)



- ⑮-2 ドアの外側の枠から奥(左右の前パネルの枠)に対して木ねじを打ってください(右図参照)。
枠幅の中央の位置に上部、中央部、下部の三箇所ずつ、合計6本の木ねじを打ちます。

- ⑯ **棟木を乗せる**
棟木を前後の破風の切り込みにはめ込みます。
前後にはみ出る寸法が同じくらいになるように乗せてください。

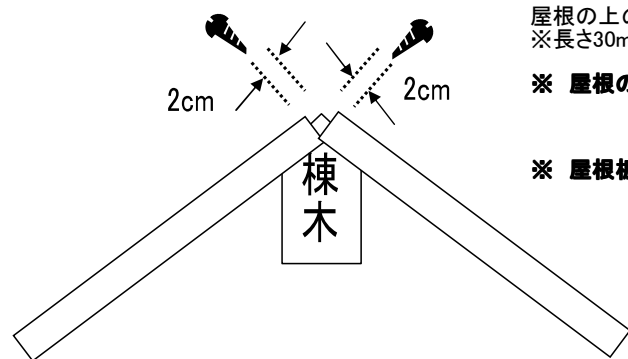
木ネジで前面から固定



- (17).(18) **屋根板を乗せる**
※ 屋根板に張ってあるアスファルトシングルは丈夫ですが、傷つけないように気をつけて扱ってください。
※ 屋根板は重いので、二人以上で持ち上げて乗せてください。
屋根板を持ち上げ、小屋の左右のパネル側から乗せてください。
屋根板の内側には滑り落ちを防ぐ枠が付いていますので、その枠が左右のパネルの内側に入るまで屋根板の内側の前後の枠が前後のパネルの内側に入るようにしてください。(左右の屋根板共)
左右の屋根板が中央の棟木の上で合わせるように調整してください。
屋根の内側の前側の枠が前の破風にぴったりと当たるように、また左右の屋根板の前面がそろう様に位置決めしてください。

屋根パネルの棟木への固定

一人の作業者が屋根パネルをきちんと合わせた状態で別の作業の方が屋根の上から棟木へ向かって木ねじを打って屋根と棟木を固定してください。



屋根の上の端から下へ約2cmのところへ左右それぞれ4本ずつ木ねじを打ってください。
※長さ30mmの木ねじをご使用ください。

- ※ 屋根の上へ上がる前に、左右の屋根板がきちんと左右前後のパネルに収まっているか確認し、安全な脚立あるいははしごで十分に注意して上ってください。
降りるときはさらに危険ですので、十分に注意してください。
※ 屋根板に張ってある防水シートは丈夫ですが、傷めない様やわらかめの靴を履いて上ることをお勧めします。

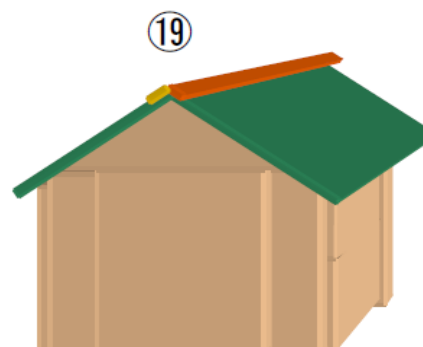
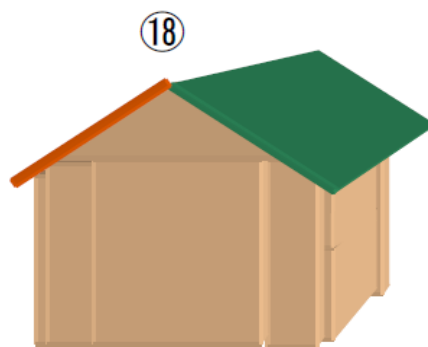
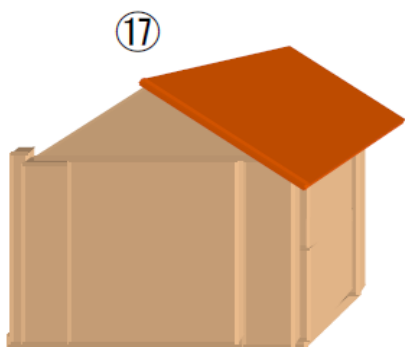
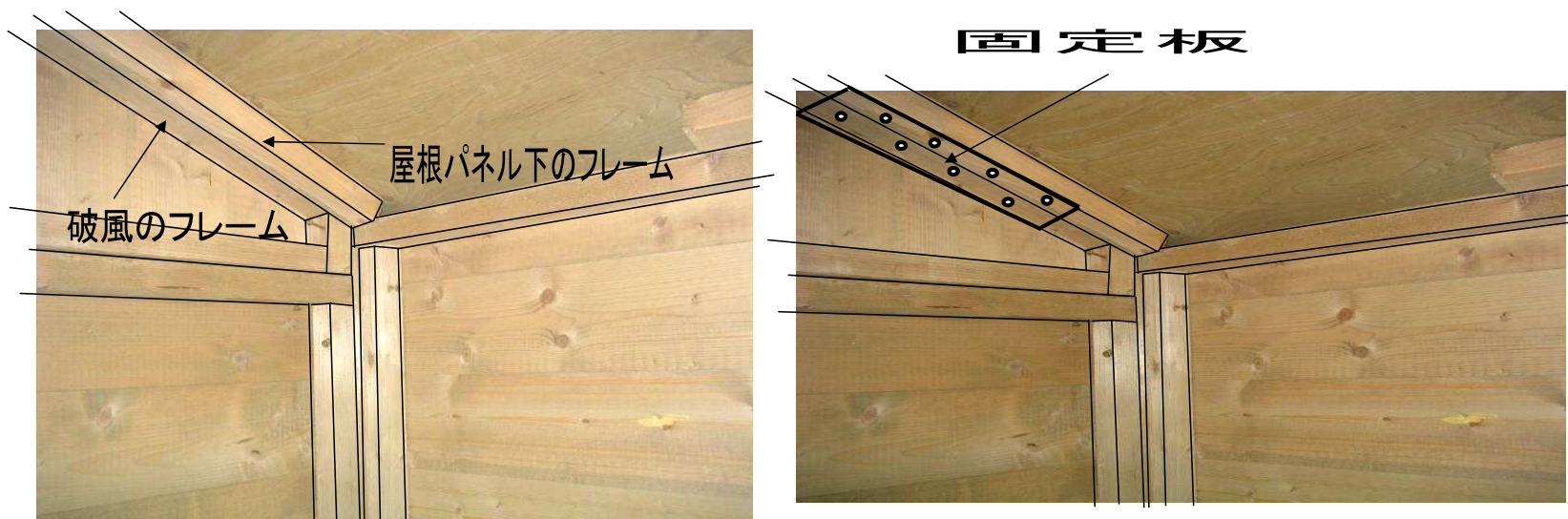
木ネジで固定した後は木ネジの上に添付のコーキング材をかぶせてより確実な防水をしてください。

屋根の固定

屋根は固定用の板を使用して屋根と破風をつなぐことによって固定します。

屋根パネル下のフレームと破風のフレームが離れていたら外側からは風及び前後のパネルを内側へ押し、それぞれのフレームが出来るだけ近づくようにしてください。多少は隙間があってもかまいません。

下図のように、このパネルを「破風のフレーム」と「屋根パネル下のフレーム」の両方に当るように下側に当て、8本の木ネジ(長さ30mm)で下図のように固定してください。これを前後左右4箇所で行ってください。固定版は4枚入っています。



①9 屋根カバーの設置 (前頁の図①9参照)

※ 屋根の上に上がる前に、左右の屋根板がきちんと左右前後のパネルに収まっているか確認し、安全な脚立あるいははしごで十分に注意して上ってください。降りるときはさらに危険ですので、十分に注意してください。

※ 屋根板に張ってある防水シートは丈夫ですが、傷めない様やわらかめの靴を履いて上ることをお勧めします。

屋根カバーを屋根の中央に置いてください。屋根のサイズと屋根カバーの寸法が合わないときは前面で合わせてください。

屋根カバーの上からモクネジ(φ4×20mm)を打ち、屋根板に固定してください。左右からそれぞれ3本、合計6本打ちます。

屋根と柱の固定

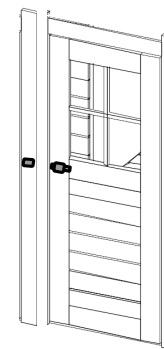
屋根の上から4箇所の柱へ木ねじを打って屋根と柱を固定してください。

屋根の上からは柱の位置がわかりにくいので、屋根の内側で端から柱までの寸法を測り、屋根の上にネジうち位置の印をつけてください。

また他の作業者が下から釘の位置を確認して、より確実に柱に固定してください。

木ねじを打った後は添付のコーキング材をネジの頭の上に塗り、より確実な防水をしてください。

⑳



㉔

ドア取っ手の取り付け

ドアの鍵の上の穴に取っ手を内・外両側から固定して更にカバーを固定します。

※ 鍵は2段式になっているので、あけるときの閉めるときも「カチツツ」という音が2回するまで回して開け閉めしてください。

※ 鍵はなくさないよう十分に注意してください。

㉕

窓の亚克力板の取り付け

ドアの窓と壁に付いた窓に亚克力板を取り付けてください。

※ **亚克力板のサイズはドア用と窓用では違います。ご注意ください。**

窓の内側から上下左右の木の枠を外します。

注意: 直接釘を抜くのではなく、外す枠とその外側の枠との間に薄い鉄板やマイナスドライバーの先などを入れ、枠を傷めないように少しづつ釘を押し上げるように外していってください。

枠4本を外したら亚克力板をはめて、枠を元通り打ち付けます。

注意: 釘を打つとき、亚克力板を傷つけないよう、亚克力板にダンボールなどを当ててかなづちがあたらないようにしてください。

㉖

アンカーの設置

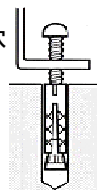
※ 四隅用のアンカーとアンカーボルトが付いています。

1. 下がコンクリートの場合

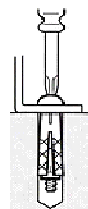
① コンクリートのアンカーボルトを埋める位置にドリルで下穴を開ける。穴の径はボルトがちょうど入るサイズ。穴のコンクリート粉などを取り出して中をきれいにする。



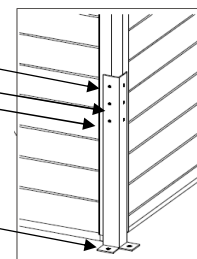
② 取り付ける部分を穴に埋め込む



③ アンカーの穴を通してネジを中の器具に締め付けて固定する。



木
ネジ
アン
カー
ボ
ル
ト

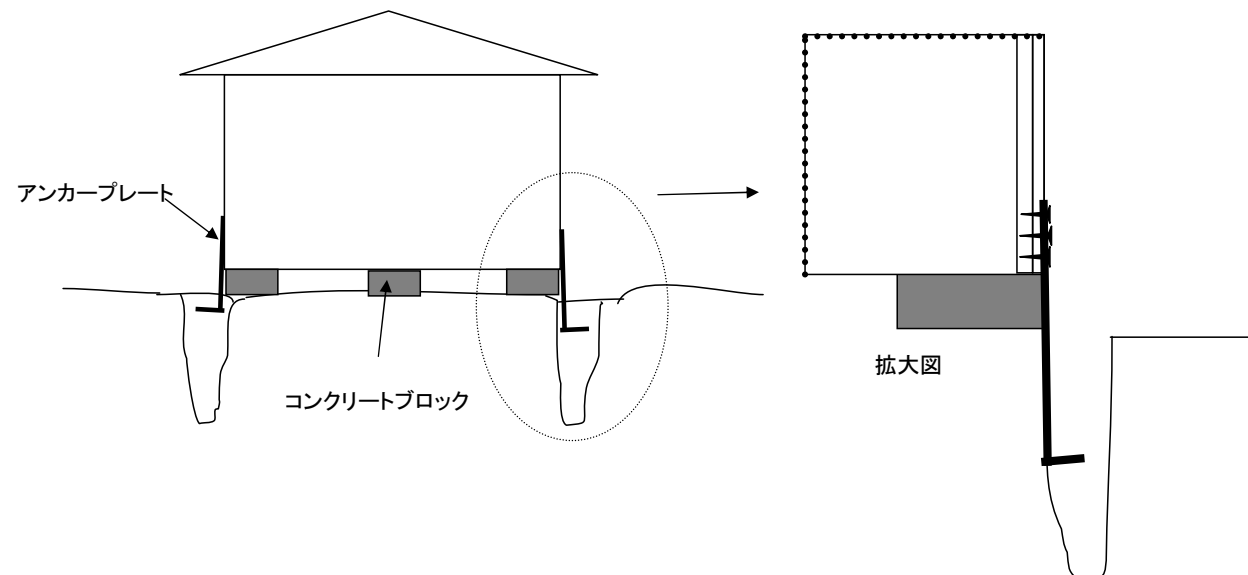


㉖

※下に敷いたコンクリートブロックの厚みの応じてアンカープレートはコーナー支柱の下のほうへ下げてください。

2. 下が土の場合

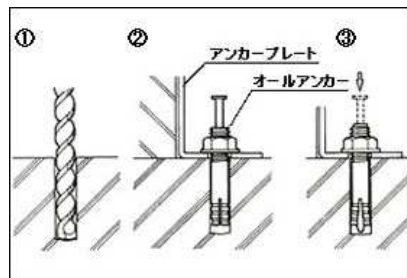
設置する小屋の四隅に接してその外側にアンカープレートが入る穴を掘り、アンカーパネルの下側をコンクリートを流し込んで埋めます。



土の上に小屋を設置した場合はアンカー板の上の6つの穴でコーナー支柱にねじ固定できる範囲内でできるだけ下に下げ、下のほうは土に埋めるようにしてください。

アンカーの敷設

下がコンクリートなどの場合



(1)コンクリート等にドリルで下穴をあけ、コンクリート粉を取り出して穴の中をきれいにします。

(2)取付ける器具をセットして、下穴に入れます。

(3)小ねじを最後まで締めつけ、器具を固定します。